



さとにきたら ええやん

映画会 & 感想会

とき

2017年11月23日(木) 祝日 14時～

ところ

可児市文化創造センター ala
映像シアター

入場料

300円

～映画の内容～

「日雇い労働者の街」と呼ばれてきた大阪市西成区釜ヶ崎で、38年にわたり子どもたちの憩いの場として活躍を続ける「こどもの里」。この「こどもの里」に密着したドキュメンタリー。さまざまな困難にぶつかりながらもたくましく育つ子どもたち、彼らを支える職員達や街に暮らす人々の奮闘を描いています。

こどもの里の館長は、来年1月27日(土)の「つどい」で講演をしていただく
莊保共子さん(右写真)です。



子どもたち三人、すてきでした。撮られたものが、「さと」の実力が事実としてこちらに迫ってきました。「さと」の包容力、心も温まるし、うらやましいし、日々、終わりのない課題・問題との向き合いで大変だな、よく頑張っているな、と感心ばかりしてました。

アニメーション
映画監督
高畑 勲



ここまで、「さと」を内側から撮れたなんてすごいな。大人が子どもを育てるんやない。子どもが、不完全な親を育て、大人を成長させてるんや。そんな子どもたちの愛の底力に、泣いて笑って、打ちのめされて欲しい。

ノンフィクション
ライター
北村 年子



ヒリヒリ、ボカボカ、最後は不覚にも、ウルウルしてしまっただけ。一度入ったらなかなか抜けられなくなりました。ぼくも「こどもの里」依存症になってしまいました。不器用な人達がこんなに賢明に熱く生きている。生きるパワーをもらいます。この映画すごい。

医師・作家
鎌田 寛



「さとにきたらええやん」映画パンフレットより引用

主催:「子育て・教育のつどいinかも」実行委員会

岐阜県教職員組合・可茂支部

509-0305 岐阜県加茂郡川辺町西板井字広瀬749-1 可茂教育会館

電話0574-53-6011 FAX0574-53-6309 Email kamo-shibu@nifty.jp